

エクステリアVR作成方法

エクステリアVRでは、簡単に視点が動くパースを作成する事ができます。



1 エクステリアVRとは

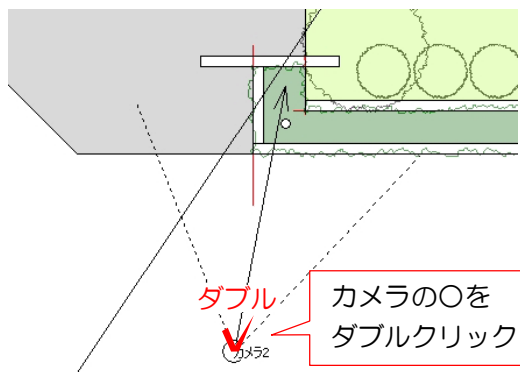
エクステリアVRとは…
マウスドラッグでパースをクルクルと回して見ることができるパースを作成する機能です。

作成したVRはパソコンやタブレットなどのブラウザで見ることができ、特殊なソフトを使用しなくても閲覧することができます。

メールでお施主様にご案内を出して、見ていただくことも可能です。



レイヤは「カメラ」



2 VRレンダリング作業手順



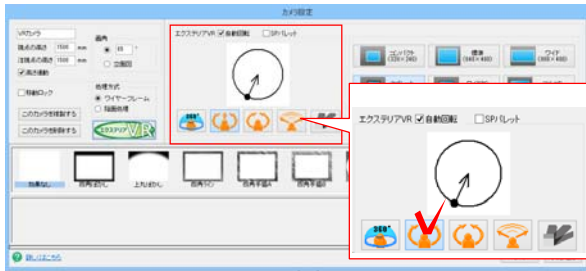
矢印の先とカメラの位置を基準にしてVRを作成します。eE-Painterでカメラの角度を、平面図で矢印の位置を調整しておきましょう。

2-1 カメラレイヤで、VRを作成したい視点のカメラのOをダブルクリックします。

カメラの設定画面が開きます。

2-2 右下の「エクステリアVR」をクリックします。





VRレンダリングの設定画面が開きます。
2-3 画面中央のタイプを選択します。
※タイプによって作成時間が異なります。

●が自分が立つ位置です。
円弧が動画の軌道です。

【スタンドインVR】

カメラの位置から360°を見回します
VRゴーグルを使用できます

3D視点移動【周囲を回る】【見下ろす・近づく】

矢印の先を中心に
周囲を回り、上・前に動かさせます

【周囲を回る】

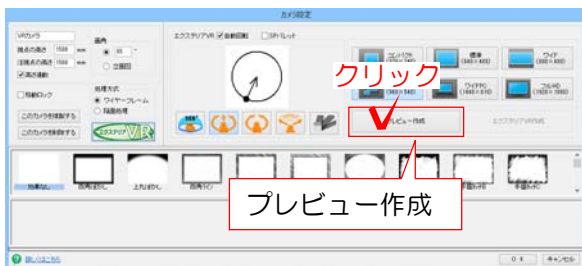
矢印の先を中心に周囲を回ります

【見回す】

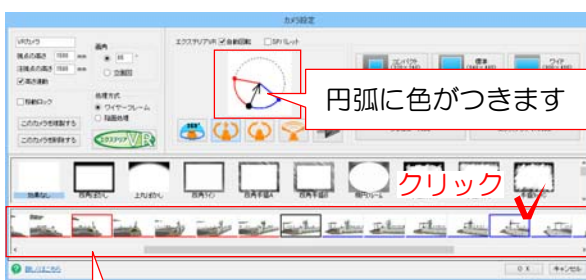
周囲を見回します

【影が動く】

影シミュレーションができます



2-4 右下の「プレビュー作成」をクリックします。



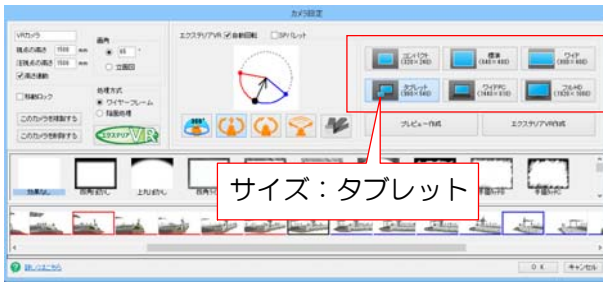
画面下にプレビューが表示され、円弧に色がつきます。

※「プレビュー作成」を押した後、2-3でタイプを選択しなおした場合は、再度「プレビュー作成」を押します。

カメラの矢印またはカメラの位置が基準になります。プレビューで白紙の部分ができただけの際は、カメラの矢印の位置を調整しなおしてから作業をしましょう。

2-5 プレビューの画像をクリックして、動画の範囲を決めます。

※スタンドインVRと影が動くタイプには範囲指定はありません。



2-6 画面右上のサイズを選択します。

💡 VRを閲覧する端末によってサイズを変更します。

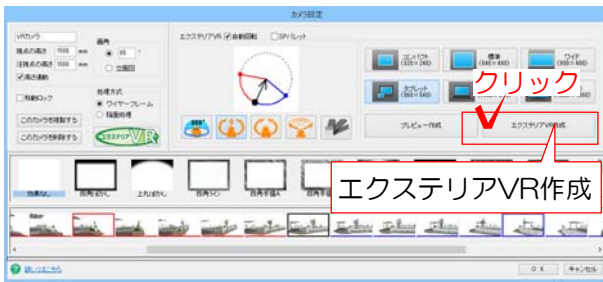
【タブレット】

→スマートフォン、ipad、タブレット用

【ワイドPC、フルHD】

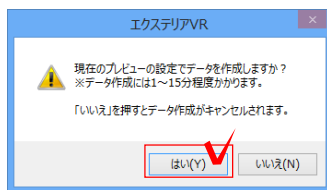
→PC、テレビモニタ用

サイズが大きくなると作成時間が長くなります。

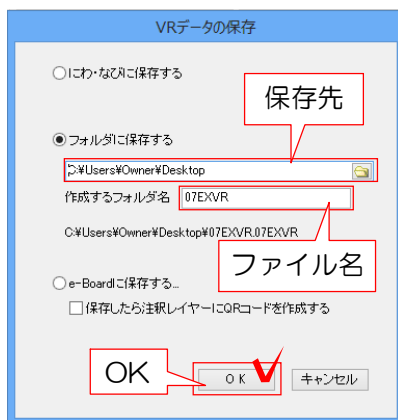


2-7 画面右の「エクステリアVR作成」をクリックします。

確認画面が表示されます。



2-8 「はい」をクリックします。

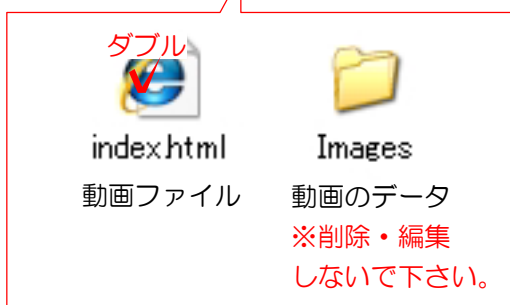


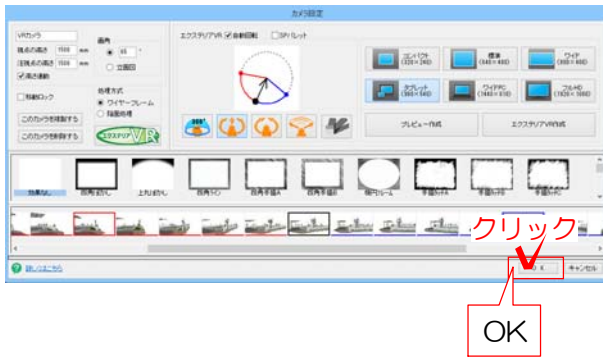
2-9 保存先とファイル名を入力して「OK」をクリックします。

通常は「フォルダに保存する」を選択しましょう。

「にわ・なびに保存」または「e-Boardに保存」を選ぶこともできます。

指定した保存先にフォルダができます。





作成が終わったら、カメラの設定画面を閉じます。

2-10 画面右下の「OK」をクリックして、カメラ設定画面を閉じます。

画角：eE-Painterの静止画レンダリング用設定です。平面図に点線で表示されている見える範囲の角度です。
立面図を作成したいときは「立面図」を選択します。

カメラの名称

視点の高さ：人の目線の高さ
注視点の高さ：見る先の高さ
高さ連動：視点の高さと注視点の高さを同じにします。

カメラ設定画面



移動ロック：カメラの位置が固定され、ドラッグで移動出来なくなります。

マニュアルボタン：VRのマニュアルを閲覧できます

3 VRレンダリング画面説明

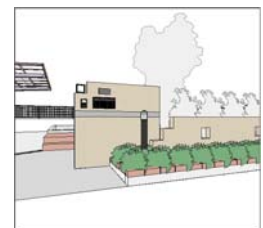
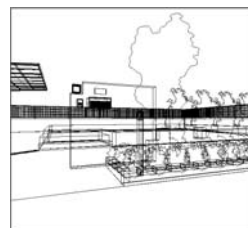
3-1 カメラレイヤで、VRを作成したい視点のカメラのOをダブルクリックすると、カメラ設定画面が表示されます。

カメラの設定画面が開きます。

処理方式：eE-CAD画面右のパース表示画面での表示方式です。

ワイヤーフレーム
図形を線で表示します。

陰面処理
色付きで表示。前後関係が分かりやすい状態。



エクステリアVR：

エクステリアVR用の設定です。クリックすると別画面が開きます。3-2へ

このカメラを複製する：現在選んでいるカメラを複製することができます。

このカメラを削除する：現在選んでいるカメラを削除することができます。

影シミュレーションVR設定画面



VRデータの作成と以下の設定を選択することが出来ます

- 所在地：都道府県が選択出来ます。
- 設定日：春分・夏至・秋分・冬至・指定(日付指定)が選択出来ます。
- カメラ：現在のカメラ・平面図が選択出来ます
- 表示：完成したVRに所在地・設定日・時刻、またその情報をVRの画面のどこに表示させるかを選択出来ます。

3-2 カメラ設定画面右下の「エクステリアVR」をクリックすると開きます。VRに関する設定画面と作成ボタンです。

エクステリアVR自動回転：チェックを入れると自動的にVRを回すことが出来ます。

エクステリアVR：タイプを選択します。「360°」「周囲を回る」「見回す」「影が動く」があります。3D視点移動のタイプは「周囲を回る」に加えて「見下ろす・近づく」が出来ます。eE-CAD平面図に表示されている矢印とカメラ位置が基準になります。

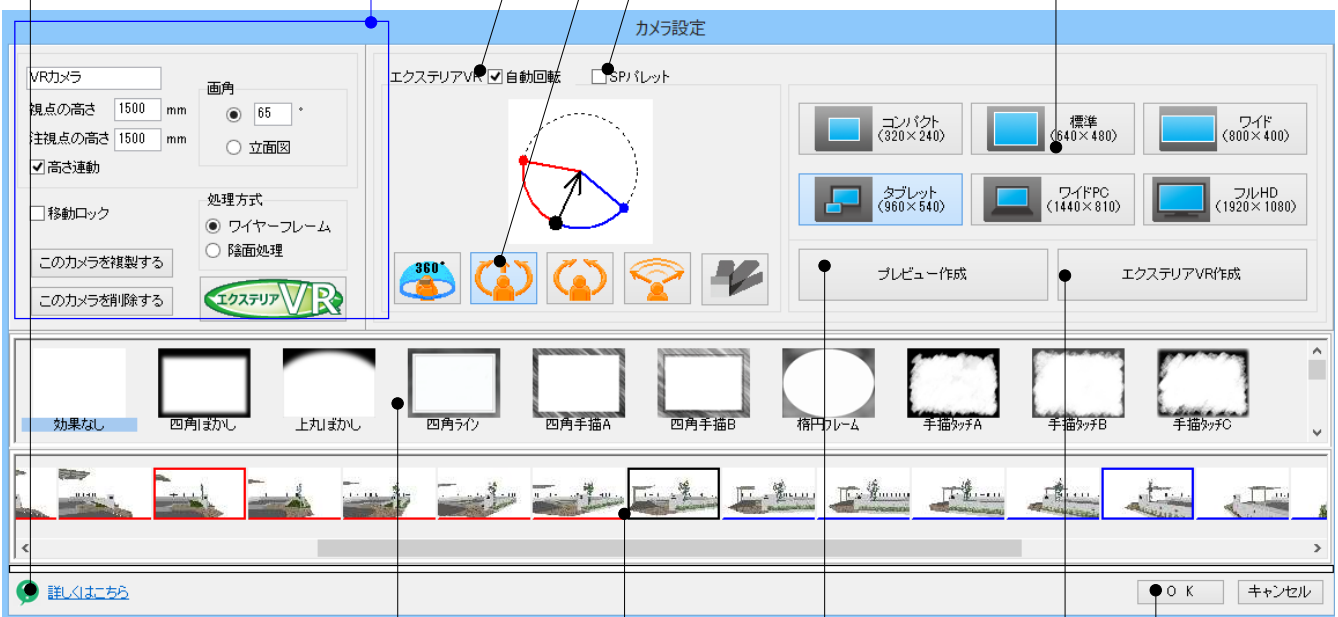
SPパレット：SPパレット設定画面が開き手書き風のVRが作成できます。

サイズ：作成するVRのサイズです。※サイズによってデータ量が変わります。通常は標準を選択しましょう。

カメラ設定画面：3-1参照

VRレンダリング設定画面

マニュアルボタン



ぼかしフレーム：ぼかしフレームを選択することが出来ます。※ぼかしフレームをクリックで選択したら「プレビュー作成」のボタンをクリックしましょう。

プレビュー作成：VRのタイプを選択後、クリックしてプレビューを作成します。

OK・キャンセル：VR設定画面を終了します。

プレビュー：プレビュー作成で表示されます。黒枠がカメラの初期視点。右周りりと左周りがそれぞれ赤と青で表示されます。クリックすることで、VRの作成範囲を決定します。

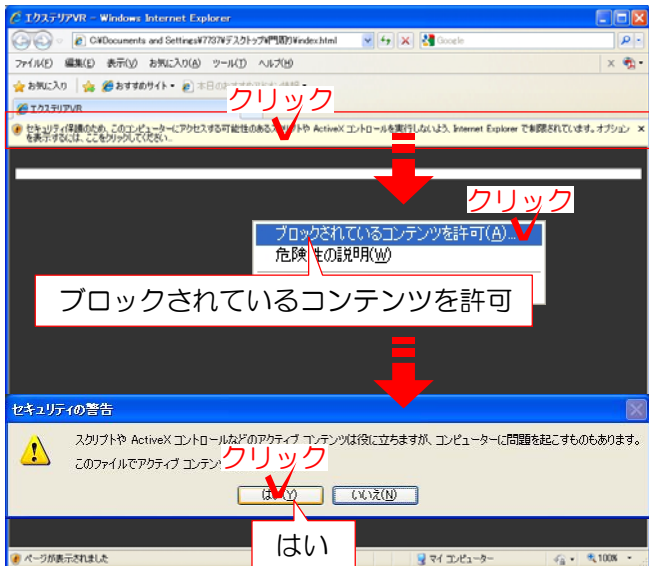
エクステリアVR作成：VRを作成します。



4 VR閲覧方法

指定した保存先にフォルダができます。

4-1 作成されたフォルダ内の「index」をダブルクリックするとVRが表示されます。

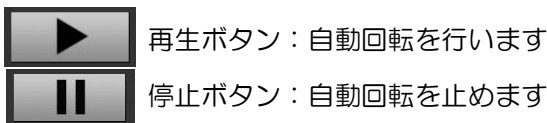


画面にVRが表示されず、警告メッセージなどが表示された場合は、クリックして許可してください。
左図は一例です。



4-2 ▶ を選択すると自動的に回転します。|| を選択すると停止します。

※ ▶ を選択せずに画面を左右にドラッグするとマウスで回す事ができます。

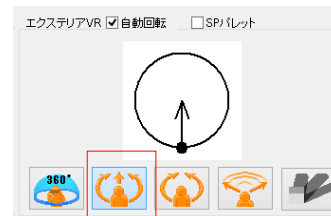


作成する時に自動回転にチェックを入れておかないと自動的に回転されません

※3D視点移動タイプで作成すると左右だけではなく、上下・前後にもドラッグで動かすことができます。



上にドラッグで「見上げる」
下にドラッグで「視点を戻す」

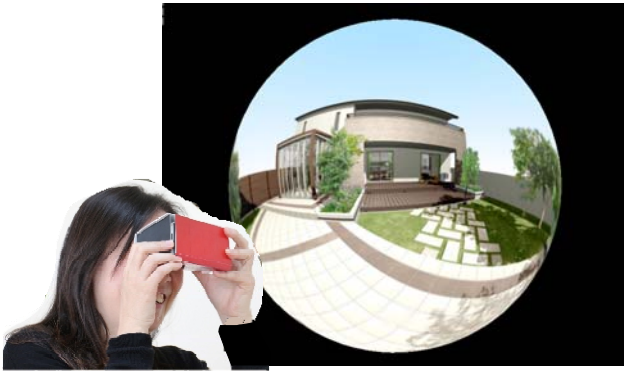


マウスホイールを上へ転がすと前に移動、下へ転がすと後へ戻ります

詳しい説明はWEBマニュアルを参照してください。
おすすめ&新機能→eE-CAD11.5
新機能→VR3D視点移動

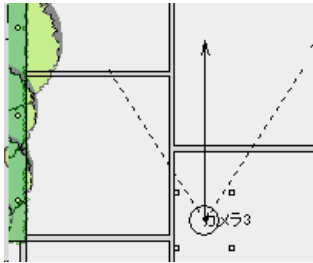
スタンドインVR作成方法

エクステリアVRでは、視点が360° 見渡せる動くパースを作成することができます。



スタンドインVRとは

360° 上下左右ぐるりと見渡すことができる最新のVRです。さらに専用ゴーグルを使用すれば自分がその場にいるかのように臨場感ある映像で体感できます。



1：カメラを設置してVRの設定を行います。カメラの位置を中心に周囲を見渡すことができます。



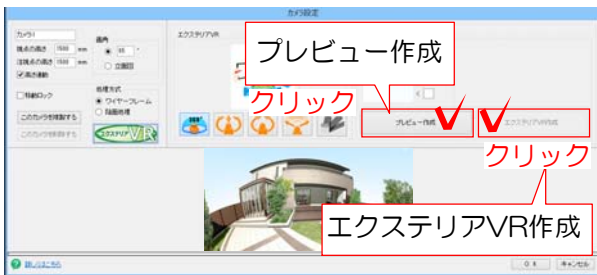
VRの作成方法 P282～参照



2：VRレンダリングの設定画面で360° VRのタイプを選択します。

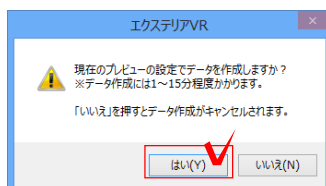
3：背景色を設定します。

eE-Painterの背景設定（カラー・背景画像）を元に自動で作成されます。変更したい場合は色をクリックして設定できます。（eE-Painterに反映されません）



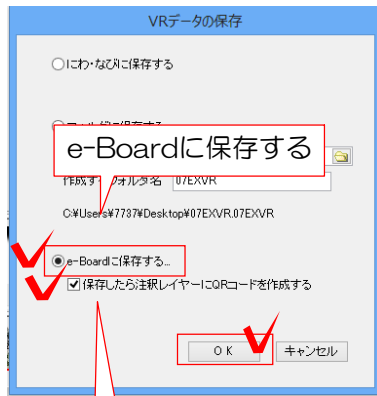
4：「プレビュー作成」をクリックします。

5：画面右の「エクステリアVR作成」をクリックします。



確認画面が表示されます。

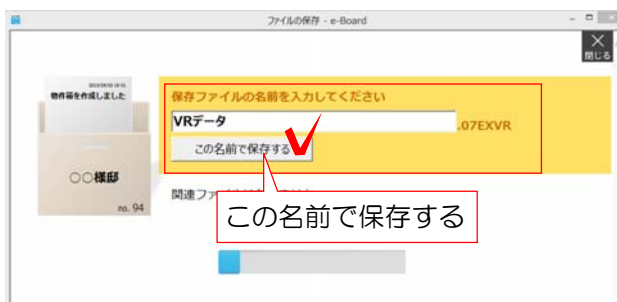
6：「はい」をクリックします。



保存したら注釈レイヤーにQRコードを作成する

7: 「e-Boardに保存する」を選択します。
「にわ・なびに保存する」、「フォルダに保存する」も選択できます。

「保存したら注釈レイヤーにQRコードを作成する」にチェックを入れておくと注釈のレイヤーにQRコードが配置されます



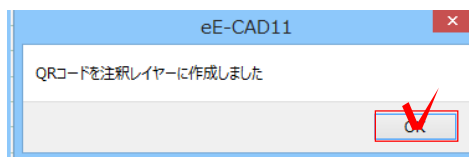
この名前で作成する

VRの作成が終了すると、e-Boardの保存画面が表示されます。

8: 保存する物件箱を選択し、データ名を入力後「この名前で作成する」を選択します。



詳しい手順は
VRをe-Boardへ送る方法
P292～ 参照して下さい。



e-Boardへ保存ができると「QRコードを作成しました」と表示されます。

9: 「OK」を選択します。



Eメールで送る

QRコードが注釈のレイヤーに配置されます。

こちらのQRコードをスマートフォンなどで読み取るとスタンドインVRが閲覧できます。

※e-Boardでも閲覧でき、そこからQRコードを読み取る、メールで送ることも可能です。



QRコードをスマートフォンの読み取りカメラや専用アプリで読み取った場合は表示方法の選択画面が表示されます。



指で画面を動かすまたはスマートフォンを動かすまたはVRゴーグルで見るをタップします。
VRゴーグルを使うと、自分自身が周囲を見回してその場に立っているような臨場感ある映像をみることができます。

市販のVRゴーグルでも見るすることができます。

VRをにわなびからO7クラウドへUPする方法

にわ・なびとO7クラウドを活用しましょう。



にわ・なびを使用してVRをWeb上で表示させたり、取引先やお施主様にメール送信する方法です。にわ・なびを使うとビジュアルメールを作成・送信することが出来ます。

VRデータ保存画面

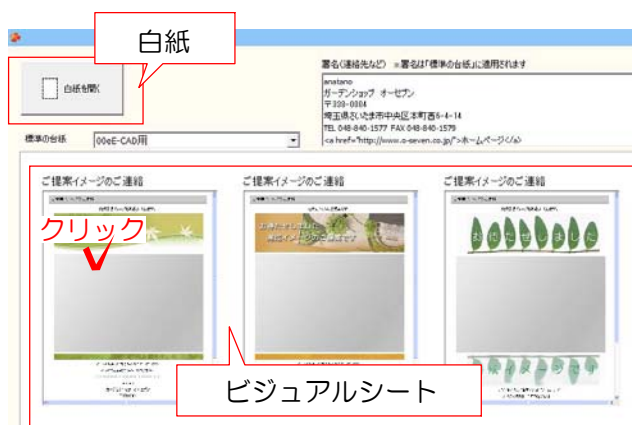
1 VRを作成する



VRの作成方法は
P282～参照して下さい。

2 にわ・なびへ送る

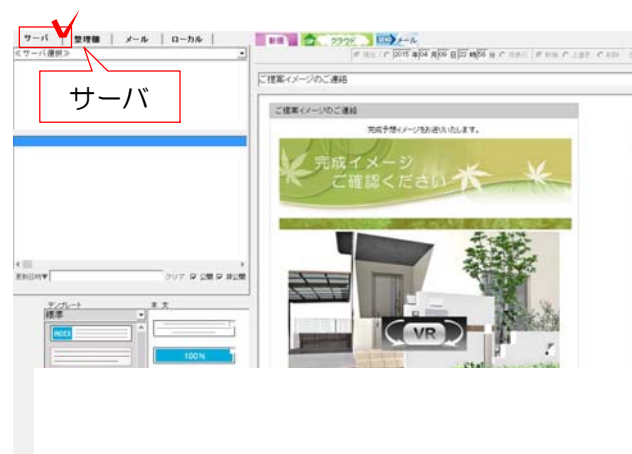
2-1 保存先を設定する画面で、「にわ・なびに保存する」を選択します。



にわ・なびが起動します。

2-2 VRを添付したいビジュアルシートを開くか、白紙を開くを選びます。

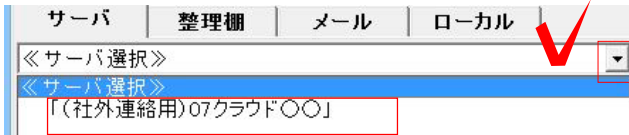
※ここではビジュアルシートを使って説明します。



記事の編集画面が開きます。

2-3 タイトルやコメントの入力をして、サーバをクリックします。

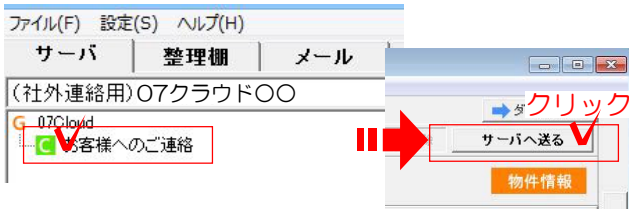
※にわ・なびのバージョンが最新でないと項目が選択できない場合があります。アップデートで最新の状態に更新してください。



納品設定管理ツールで設定を行った場合は「(社内連絡用)07クラウド00」 e-Boardは「(社内共有用) eE-CAD保存サーバー00」と表示されます。※00はサーバーの番号です。

2-4 <<サーバ選択>>をクリックして、サーバを選択します。

サーバー設定方法
Web7.171 eE-CAD→ファイル→e-Board



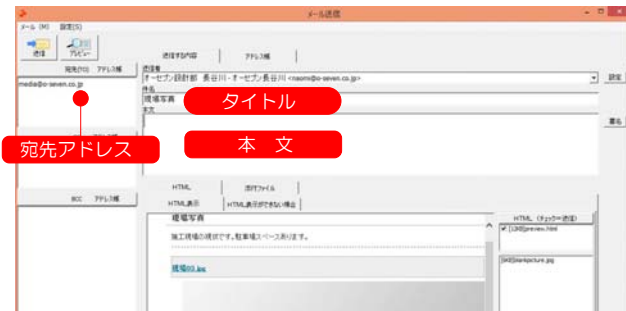
2-5 **C** をクリックして、画面右の「サーバーへ送る」を押します。

クラウドにUPされると◎のマークが付きます。



2-6 UPしたVRをメールで送信する場合は「メール」をクリックします。

メール送信画面が開きます。

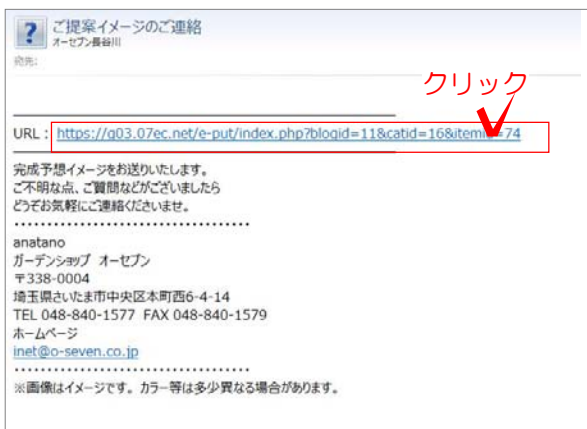


2-7 送り先のアドレス、本文を入力して送信します。
※にわなびからメール送信する場合は、メール設定が必要です。

にわなび→メール作成→にわなびメールの設定方法

2-8 メール内のURLをクリックします。
VRの記事が開きます。

2-9 VR画像をクリックすると動くVRを見ることが出来ます。




VRをe-Boardに送る方法

作成したVRデータをe-BoardにUPします。同時にQRコードを作成できます。

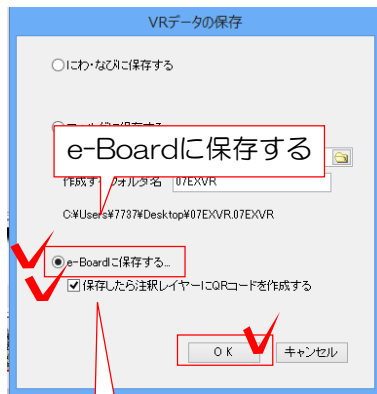


eE-CADとe-Boardを連動させて活用する方法です。QRコードを作成したり、メール送信が簡単に出来るのでプレゼンの幅が広がります。

※e-Boardの設定をしていない場合は、eE-CADでe-Boardの設定を行って下さい。

 eE-CAD→ファイル→e-Board

VRデータ保存画面



保存したら注釈レイヤーにQRコードを作成する

1 VRを作成する



VRの作成方法は
P282～参照して下さい。

2 e-Boardへ送る

2-1 保存先を設定する画面で、「e-Boardに保存する」を選択します。



「保存したら注釈レイヤーにQRコードを作成する」にチェックを入れておくと注釈のレイヤーにQRコードが配置されます

e-Boardの画面が表示されます。

2-2 新しく物件箱を作る場合は **物件箱+** をクリックします。

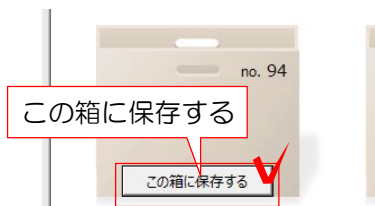
※保存する物件箱が既にある場合は「この箱に保存する」を選択します





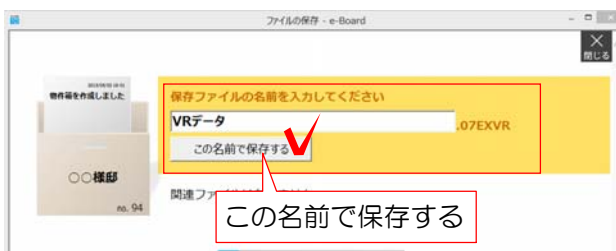
物件箱を新しく作る場合は入力画面が表示されます。

2-3 ふりがなと物件名を入力し新規登録を選択します。



物件箱が表示されます。

2-4 物件箱が表示されるので、「この箱に保存する」を選択します。

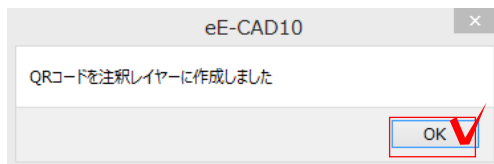


2-5 保存するデータ名を入力して、「この名前で保存する」を選択します。

e-Boardへの保存ができると「QRコードを作成しました」と表示されます。

2-6 「OK」を選択します。

※2-1の作業で、「保存したら注釈レイヤーにQRコードを作成する」にチェックが入ってないとメッセージは表示されません。



QRコードが注釈のレイヤーに配置されます。



QRコードとは？

読み取りカメラや専用アプリで読み取るとアドレスが表示され、簡単にサイトにアクセスすることができます。

e-BoardにUPした画像やVRなども簡単に見ることができます。



e-Boardの物件箱にもVRデータがUPされます。

作成したVRをO7Viewerで閲覧する方法

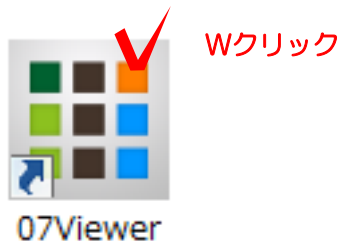
e-Boardに送ったVRデータをO7Viewerで確認してみましょう。



e-Boardに送ったVRデータをO7Viewerで確認する方法です。

※O7Viewerでe-Boardの設定が必要です。はじめに設定をしましょう。

 [O7Viewer→設定方法](#)



1-1 O7Viewerを起動します。

※タブレット端末からはタップすると起動します。



1-2 e-Boardを選択します。



1-3 ビューワーを選択します。



1-4 更新された記事を選択します。



1-5 VRが表示されるので、左右にドラッグしてイメージパースを確認します。